

2月14日 本日の為替見直し

ポイント

市場参加者の目は、明日15日のユーロ圏財務相会合に釘付け!! 9日のユーロ圏財務相会合では期待されながらも、ギリシャ緊縮財政の削減案が承認されず延期となった経緯もある。

昨日は、ギリシャ議会が財政緊縮法案を可決し、リスクオンの流れとなっているが、結局のところ強いのはAUDとNZDだけ。ドイツなどユーロ圏財務相は残り二つを要求し、このハードルを越えられるか否かで、為替相場はどちらにでも転ぶ可能性があり、それまでは、一方向へ動きにくい。その一つハードルは、ギリシャ政党指導者に財政プログラムの実施を確約させる書面の要求で、報道ではこれはクリアできそうとのこと。残り一つのハードルは、3.25億ユーロの歳出削減の具体案で年金支給額の削減など、煮詰めている最中とのこと。これに、欧州委員会は民間部門の関与(PSI)の損失を含め、パッケージとして一括した対応を求めている。

ギリシャでは、10数万人規模の抗議デモが行われ、新聞やテレビでもその状況が映し出されている。ソロス氏は「メルケル独首相は財政難の国に歳出削減を要求し、かつて米国が景気刺激策を導入せず、緊縮プログラムを要求し大恐慌に陥ったのと、同じ過ちを繰り返す危険を冒している」と言う。15日にユーロ財務相がギリシャ第2次支援にゴーサインを出しても、EURUSDのショートカバーによる上昇が終われば、市場参加者は疑心暗鬼に陥る可能性が残る。

ECBは2月29日に、12月20日に続く2度目の3年物中期ファイナンス・オペの実施を約束している。先の金額は4890億ユーロで、今回は6800~7500億ユーロとの予想もあり、事実上の量的緩和を拡大させる。ブルムバークの記事によれば、1%で資金を借り入れ、より高金利で運用することで、銀行は推定130億ドルの利益を得ることになるとのこと……。

色々な手法がある中で、去年は、キャリートレードは不作の年と言われ、年初にもその予想が多かったが、ある発表では今年1月だけで、驚きの5%のリターンとのレポートもある。その代表的通貨はAUDJPYと推測されるが、昨日、豪クリア紙がオーストラリア「AAA」格付けの、見通しをネガティブに引き下げる可能性を示唆した報道もあったが、AUDは値を下げる気配も見られない。今日は、明日15日のユーロ圏財務相会合に向けた、色々な発言が聞こえてくると思うが、どうしても、明日の結論を見るまでは、積極的な動きも期待できない。

コメントを作成中に、ムーディーズはユーロ圏と英国の格付けを引き下げた。◎イタリア 格付けを「A2」から「A3」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」。◎スペイン 格付けを「A1」から「A3」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」◎ポルトガル 格付けを「BA2」から「BA3」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」◎マルタ 格付けを「A2」から「A3」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」◎スロバキア 格付けを「A1」から「A2」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」◎スロベニア 格付けを「A1」から「A2」に引き下げ、見通しは「ネガティブ」◎フランス 格付け見通しを「ネガティブ」に変更 ◎イギリス 格付け見通しを「ネガティブ」に変更

本日の重要な経済指標 発言・その他

発言・その他

10:45 ウィリアムズ SF 連銀総裁、FRBの責務について講演
19:00 イタリア中期債入札 40億ユーロ、2014年債
19:00 ギリシャ3カ月物Tビル入札、10億ユーロ91日物
00:00 米ガイトナー米財務長官、上院財政委員会で2013会計年度予算教書について証言
08:40 ロックハート米アトランタ地区連銀総裁が経済(講演)
EU・中国首脳会談(北京)
オバマ米大統領が中国の習近平・国家副主席と会談

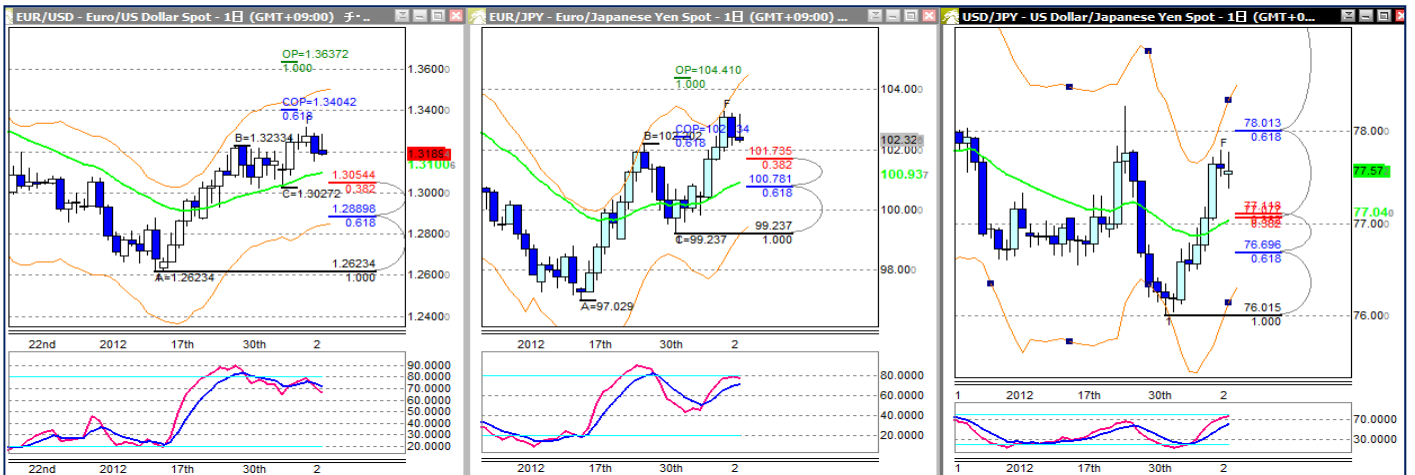
注目の経済指標

18:30 英消費者物価指数
19:00 独ZEW景況感調査
22:30 米小売売上高

本日の主な経済指標と発表予定

未定	JPY 日銀政策金利を発表=政策金利0.1%の据え置きを予想
6:45	NZD 1月 食品価格=前月比予想 12月0.2%
9:01	GBP 1月 RICS 住宅価格=予想-18% 12月-16.0%
9:30	AUD 1月 NAB 企業景況感指数=予想 12月1、気企業信頼感=予想 12月3
13:30	JPY 12月 鉱工業生産・確報=前月比予想 速報4.0%、前年比予想 速報-4.1%
11:30	JPY 12月 設備稼働率・確報=前月比予想 速報-2.9%
18:30	GBP 12月 DCLG 英国住宅価格=前月比予想 12月0.4%、前年比予想 12月-0.3%
18:30	GBP 1月 消費者物価指数=前月比予想-0.5%12月0.4%、前年比予想2.6%12月4.2%、コア前年比予想 12月3.0%
18:30	GBP 1月 小売物価指数=前月比予想 12月0.4%、前年比予想 12月4.8%、コア前年比予想 12月5.0%
19:00	EUR 12月 鉱工業生産=前月比予想-1.4% 11月-0.1%、前年比予想-1.2% 11月-0.3%
19:00	GER 2月 ZEW 景況感調査:現況指数=予想31.0 1月28.4、期待指数=予想 1月-32.5、
22:30	USD 1月 輸入物価指数=前月比予想0.2% 12月-0.1%、前年比予想7.1% 12月8.5%
22:30	USD 1月 小売売上高=前月比予想0.7% 前回0.1%、除く自動車前月比予想0.5% 前回-0.2%
0:00	USD 12月 企業在庫=予想0.4% 11月0.3%

EURUSD・EURJPY・USDJPY のマーケット・レベル



EURUSD(日足) = 25 日指数移動平均線は 1.3100、この線を下限に上場トレンドが続いている。DOPup=1.3499、DOPdn=1.2843。スロー・ストキャスティックは%K=66.21、%D=71.83、買いから売りへ変化し、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 1.3404、1.3637、下値のポイントは 1.3100、1.3054。予想レンジは 1.3050 ~ 1.3400 で、やや売り圧力が強いと思われる。

EURJPY(日足) = 25 日指数移行平均線は 100.93、この線を下限に上昇している。DOPup=104.21、DOPdn=99.19。スロー・ストキャスティックは%K=76.57、%D=71.87、買いを継続しているが売りへ変化の兆しもあり、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 103.30、104.41、下値のポイントは 101.74、100.78~93。予想レンジは 101.74 ~ 103.30 で、やや売り圧力が強いと思われる。

USDJPY(日足) = 25 日指数移動平均線は 77.04、この線を上抜けし買いの流れに入っている。DOPup=78.33、DOPdn=76.14。スロー・ストキャスティックは%K=78.25、%D=62.40 で、買いを継続し、ベース買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 77.80、78.01、下値のポイントは 77.04~12、予想レンジは 77.12 ~ 77.80 で、やや売り圧力が強いと思われる。

本日のCFD見通し Spot.WTIとSpot.Goldのマーケット・レベル

ポイント

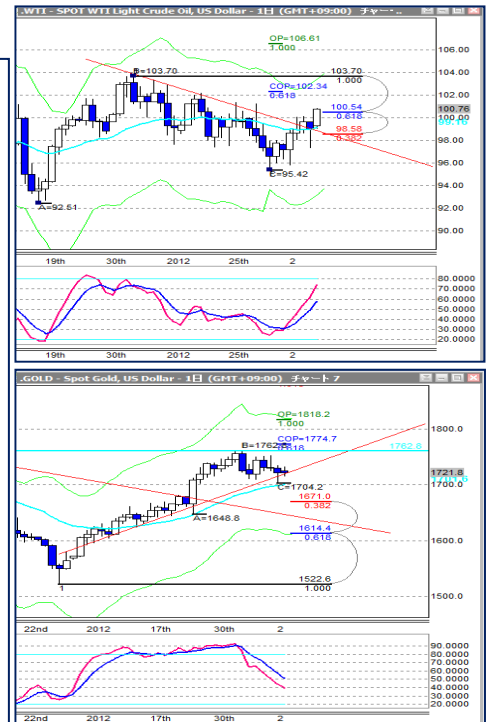
イラク核疑惑問題から始まり、イランへの禁輸措置が進む中、昨日はインドのイスラエル大使館職員の車が爆破されるなど、イスラエルはイランを非難、イランは無実を主張し一段と緊張が高まっている。また、ユーロ圏財務相会合を明日に控え、弱いながらもリスクオンの動きいプラス材料があるものの、金価格は利食い売りに上昇力は弱く、今までの流れと変わり、原油高+金安の相場の流れとなっている。

◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

地政学的リスクの高まりに、100ドル台を回復、テクニカルでもブルトンドに入り、98ミドルを割り込むまではこの流れが続く可能性が高くなっている。

◎Spot.Gold

金需要が弱まり逆にファンド筋の利食い売りが続き、テクニカルにもベアなセンチメントが続いているが、1701.63をサポートされているうちは、上昇トレンドの中で、急落の可能性は少ないと思われ、仮に下落しても、ポジション調整後の実需の買いの可能性も考えられる。大きくは、1670~1775のレンジ内での取引を予想。



Spot.WTI(Light Crude Oil)(.WTI 日足) = 25 日指数移動平均線は 99.16、この線を上回り買いの流れに入っている。DOPup=103.42、DOPdn=93.20。スロー・ストキャスティックは%K=74.00、%D=57.46 で、買いを継続し、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 102.34、103.70、下値のポイントは 98.58、95.42。レンジ予想は 98.58 ~ 102.34 で、買いの流れが継続と思われる。

Spot.Gold(.GOLD 日足) = 25 日指数移行平均線は、1701.63、この線を下限に上昇している。DOPup=1819.24、DOPdn=1712.16。スロー・ストキャスティックは%K=39.35、%D=51.17 で、売りを継続し、ベースはニュートラルゾーンに近い。上値のポイントは 1762.8、1774.7、下値のポイントは 1704.2、1701.63。レンジ予想は 1700~1750。レンジ内の動きに入りやすい。

前日の海外市場の動き

先週末にギリシャ閣議は財政緊縮策を承認し、早朝にギリシャ議会は財政緊縮法案を可決・承認し、リスクオンの流れが始まり、主要国の株価は上昇、AUD・NZD は堅調に推移した。日本の第4四半期 GDP は予想よりマイナス幅が拡大、一時円売りの流れが強まるが続き。総じて15日のユーロ圏財務相会合の結果待ちのムードが強い。

◎ギリシャ議会は財政緊縮法案を可決・承認 → リスクオンの流れが緩やかに始まった

◎日本第4四半期 GDP は予想よりマイナス幅が拡大 → 前期比年率-2.3% (予想-1.3% 第3四半期 7.0%) で、一時円売りになる

◎イタリア債入札は利回りは低下、ドイツ債入札は利回りは上昇

◎インドのイスラエル大使館前でイスラエル外交官の車が爆発、イスラエル首相はイランを名指して批判、イランは関与を否定

USDJPY

アジア市場は、開始直後の77.54を底値に、日本の第4四半期 GDP が予想より悪く77.78まで上昇したが、昨日高値77.80を超えられず77.55近くまで下落、大枠77.55~65の極狭いレンジで取引が続いた。欧州市場に入り、欧州株の上昇に一時77.73まで上昇したが、買いも続かず大枠77.65~75のレンジから徐々に値を下げた。米国市場に入り、77.60を中心に狭いレンジで取引が続いたが、EURJPYの売りを引き金に、ストップロスの売りにロンドンフィクシングに向け一時77.40割れまで下落、77.60台まで値を戻している。

EURUSD

アジア市場は、1.3209で取引が始まり、ギリシャ議会で財政緊縮法案の審議が開始され、可決の見込みにEUR買いからスタートし、可決・承認との報道に一時1.3260近くまで上昇、利食い売りにスタート水準近くの1.3210割れまで値を下げたが、米株先物は堅調でリスクオンの流れに再び1.3260を試す動きが続いた。欧州市場では、堅調な欧州株に1.3280台まで上昇したが、上値は重く1.3260を中心とした取引から1.3240台まで徐々に値を下げた。米国市場は、1.3250を戻り高値に、1.3200近くまで下落、大枠1.3200~20のレンジで取引が続いたが、終盤にかけては先週終値水準近くの1.3180台まで値を下げている。

AUDUSD

アジア市場は、ギリシャ議会で財政緊縮法案の審議が始まり、可決の見込みにEUR買いからスタートし、可決・承認との報道に1.0720台まで上昇、1.0685を戻り安値に、米株先物は堅調でリスクオンの流れに1.0750近くまで上昇した。欧州市場は、一時1.0720台まで値を下げたが、堅調な欧州株と順調なイタリア国債入札に1.0778まで上昇、1.0760を中心とした取引から1.0740台まで値を下げた。米国市場は10754を戻り高値にEURUSDの売りに連動し1.0720近くまで値を下げたが、EURAUDの売りやキャリートレードの買いに底堅く、大枠1.0720~50のレンジで取引が続いた。

金・原油価格

◎15日のユーロ圏財務相会合を控えて、一時的にリスクオンの流れとなっているが、原油価格はインドのイスラエル大使館前でイスラエル外交官の車が爆発、グルジアのイスラエル大使館で爆発物が発見され、イスラエル首相はイランを名指して批判、イランは関与を否定、軍事行動への発展を懸念している。

◎米第5艦隊司令官、イランがホルムズ海峡やペルシャ湾へ機雷を敷設したら国際社会は容認できない戦争行為とみなし、米海軍はこれを阻止するために行動する

◎アラブ連盟(12日)、カイロで外相会合を開きシリア情勢を協議、国連安保理に平和維持部隊の派遣要請で合意

◎ルー米大統領首席補佐官(12日)、アサド政権が崩壊するのは不可避

◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

アジア市場は、ギリシャ議会で財政緊縮法案が可決・承認され、99.31と先週末の水準からやや強含みでスタートし99.51まで上昇、99.06を底値に再び99.50台まで上昇した。欧州市場に入り、堅調な欧州株に99.96まで上昇、大枠99.40~85のレンジで取引が続いた。米国市場に入り、「インドのイスラエル大使館前でイスラエル外交官の車が爆発」との報道に、100.58まで上昇、一時99.30近くまで値を下げたが、グルジアのイスラエル大使館で爆発物が発見され、イスラエルがイランを非難、緊張の高まりに再び100.80近くまで上昇している。

◎Spot.Gold

アジア市場は、ギリシャ議会で財政緊縮法案が可決・承認され、1725.0と先週末の水準からやや強含みでスタートし1720まで値を下げたが、米株先物は堅調でリスクオンの流れに1730まで上昇した。欧州市場に入っても堅調な欧州株に1733.0まで上昇し、1726~33のレンジで取引が続いた。米国市場に入り、原油価格の上昇に反し、ユーロ圏財務相会合を前に利食いの売り圧力が強く、EURUSDの下げに一時1716近くまで下落、大枠1720~28のレンジで取引している。

前日の主な発言・出来事

欧州関連	ソロス氏(独シュピゲル誌) = ◎メルケル独首相は財政難の国に歳出削減を要求し、かつて米国が景気刺激策を導入せず、緊縮プログラムを要求し大恐慌に陥ったのと同じ過ちを繰り返す危険を冒している ◎IMF はユーロ圏の債務危機解決のために欧州支援に動くべきでない
ソロス氏(9日収録 11日放送 CNN)	= ◎ギリシャが緊縮策に合意しても、成長が弱く政治的緊張が長引き、欧州の経済同盟は台無しになる恐れ
メルケル独首相	= ◎全ての金融商品で規制が必要
フランス・ベルギーの規制当局	= ◎金融株を対象としたから売り禁止を終了した
欧州のソブリン債・社債保証コスト	は低下、ドイツ・英国の国債利回りは上昇

ギリシャ関連	ギリシャ議会は財政緊縮法案を可決・承認 = ◎賛成 199 票、反対 74 票で可決
ベニゼロス・ギリシャ財務相	= ◎トロイカはギリシャ銀行の追加資金ニーズに対応し、ギリシャ第 2 次支援の 1300 億ユーロから 150 億ユーロ増加額を提案
SFSF	= ◎EFSF はユーロ圏各国中銀が担保として保有するギリシャ国債を、ギリシャが買い戻すことを支援するために 350 億ユーロを供給する可能性があり、ECB がこれを支援する。
レスラー独経済技術相	= ◎ギリシャ議会の財政緊縮法案の可決は、必要条件で十分条件でない ◎ドイツ議会ではギリシャ支援で過半数の賛成を得られるかはトロイカの報告にかかっている
ザイベルト独首相報道官	= ◎ドイツはユーロ圏の中でギリシャの回復を助けたい、ギリシャ議会の決定を歓迎 ◎メルケル首相はギリシャのユーロ離脱に関与しない ◎欧州の同盟国はギリシャ支援を支持
メルケル独首相	= ◎ユーロ圏財務相は 15 日に会合を再開しギリシャ支援策の作業を進める
EU 当局者	= ◎ギリシャ議会は 1300 億ユーロの金融支援の条件となる、財政緊縮法案を可決し、条件の一つをクリア ◎ユーロ圏の財務相は、3.25 億ユーロの歳出削減の具体化を要求 ◎ギリシャ政党指導者に財政プログラム実施を約束する書面を要求 ◎欧州委員会は民間部門関与 (PSI) の損失問題を含めパッケージとして一括して決定すると見込んでいる

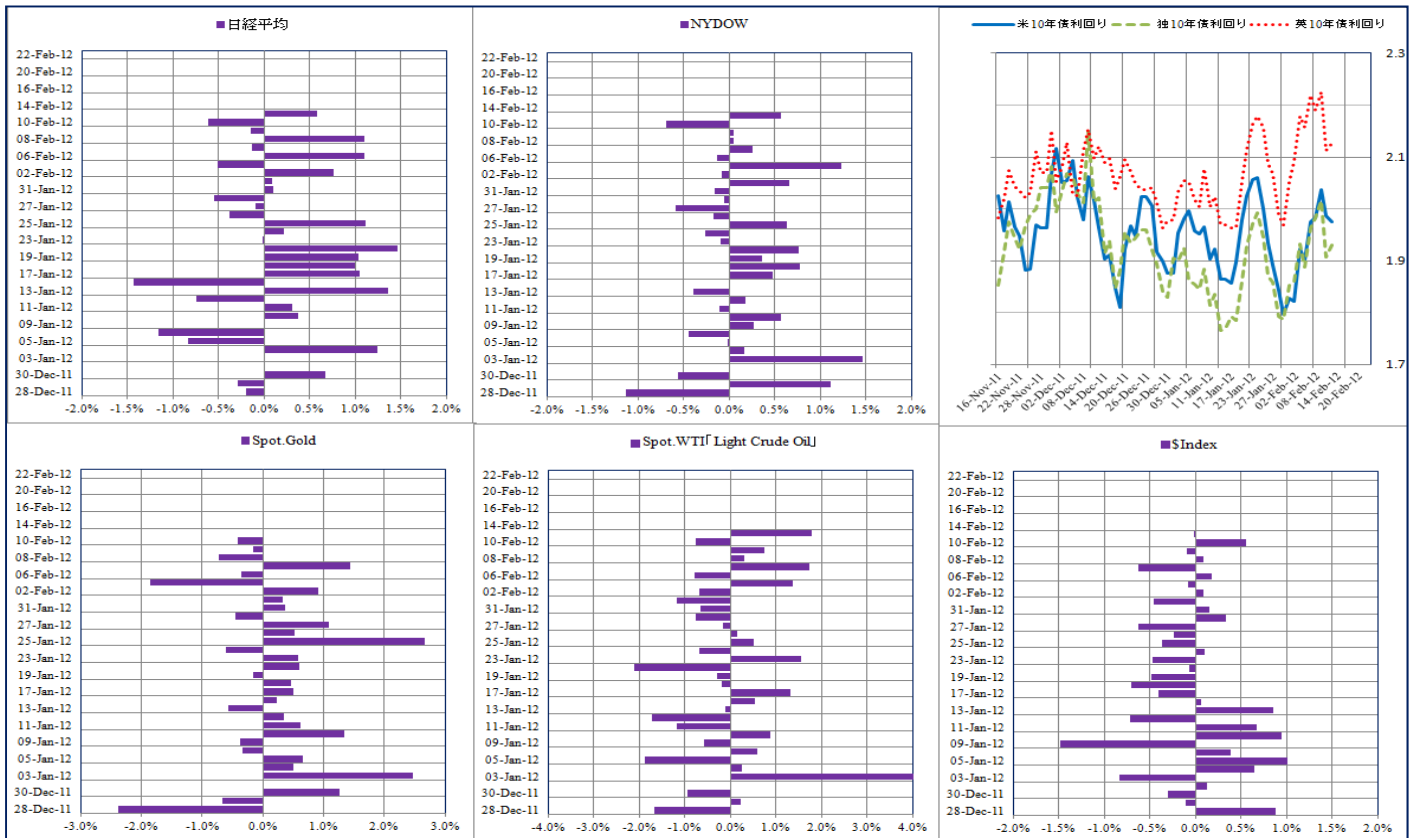
米オバマ大統領の予算教書	◎2013 年会計年度の 0.2% 増の 3.8 兆ドルの歳出承認を議会に提出 ◎2012 年会計年度の財政赤字は 1.3 兆ドルで対 GDP 比 8.5% ◎2013 年会計年度の財政赤字は 9010 億ドルで対 GDP 比 5.5%
	◎米経済は回復傾向にあるがまだ深刻な事態を脱していない ◎今後 10 年間で債務は 6.7 兆ドル増加の見込みで、財政赤字を 4 兆ドル削減を目指し、対 GDP 比 3% 以下を目指す ◎富裕層向けの増税を再提案 ◎雇用、高速道路、橋、学校、学資援助、製造業研究開発費の支出拡大 ◎企業、銀行、石油・天然ガス・石炭会社を対象に増勢を提案

JPY	ムーディーズ = ◎日本の経常黒字縮小はクレジットネガティブ ◎日本の輸出減は経済回復のポテンシャルを低下させる
CHN	周望軍中国国家発展改革委員会の価格局副局长 = ◎中国 2 月の消費者物価が 4% を下回る可能性があり、おそらく 3% 前後の見込み ◎1 月は前年比 4.5% で昨年 12 月 4.1% から上昇していた
GBP	英産業連盟 (CBI) = ◎今年の英経済はリセッションを回避する見通しで、BOE は量的緩和を一段と拡大する必要性がなくなる可能性が高い
AUD	ムーディーズ(豪クリア紙) = ◎オーストラリア「AAA」格付け見通しをネガティブに変更する可能性がある

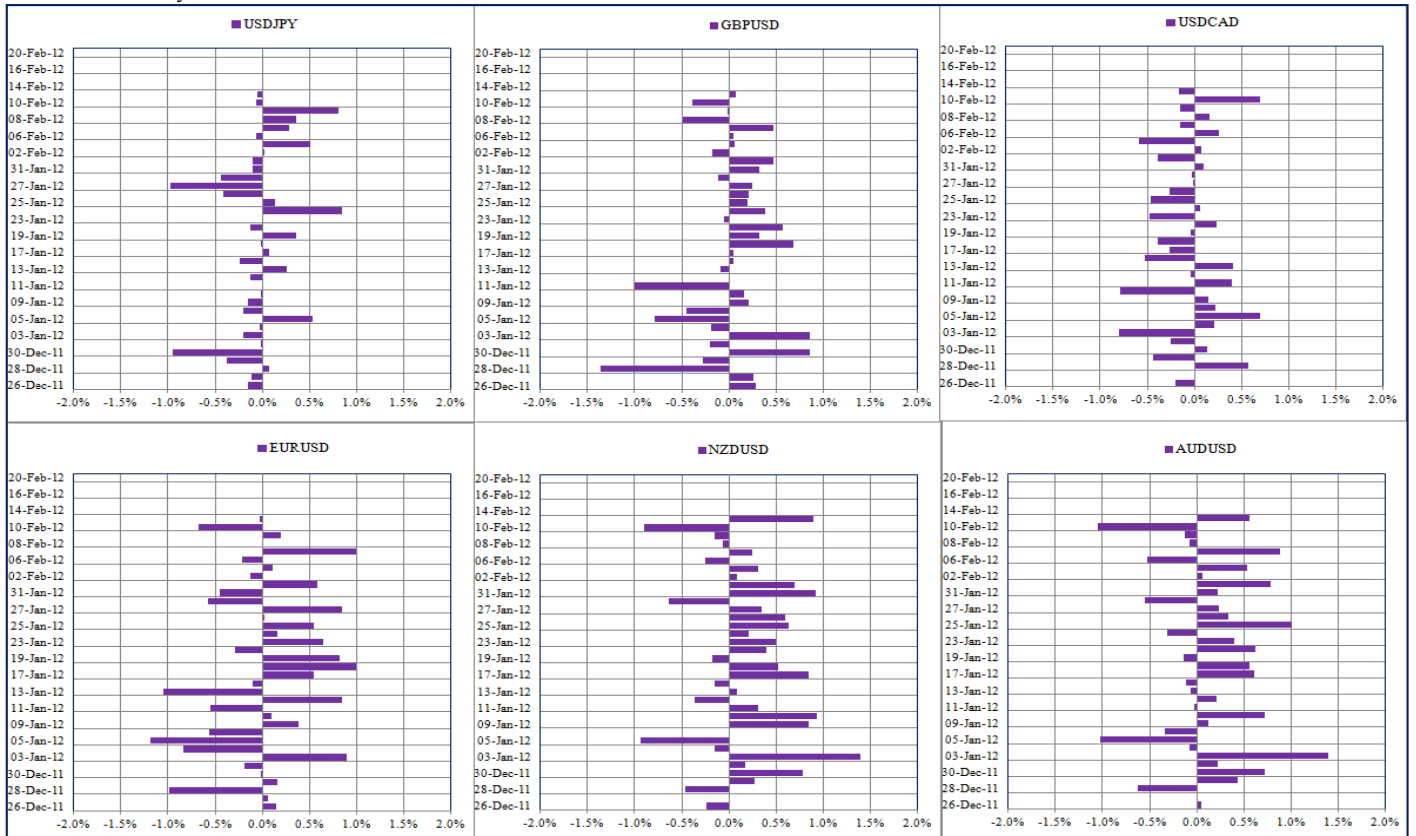
前日の経済指標と結果

8:50	JPY 第 4 四半期 GDP・速報 = 前期比 -0.6% (予想 -0.7 第 3 四半期 1.7% ← 1.4%)、前期比年率 -2.3% (予想 -1.3% 第 3 四半期 7.0% ← 5.6%)、GDP デフレーター = -1.6% (予想 -1.7% 第 3 四半期 -2.1% ← -2.2%)
8:50	JPY 12 月 第三次産業活動指数 = 前月比 1.4% (予想 0.8% 11 月 -0.6% ← -0.8%)
9:30	AUD 12 月 住宅ローン = 前月比 2.3% (予想 1.8% 11 月 1.8% ← 1.4%)、投資貸付 = 前月比 7.5% (予想 11 月 2.7%)、持家住宅ローン = 前月比 2.0% (予想 11 月 2.4% ← 2.2%)
16:00	GER 1 月 卸売物価指数 = 前月比 1.2% (前回 0.0%)、前年比 3.0% (前回 3.0%)
17:15	CHF 1 月 生産者輸入価格 = 前月比 0.0% (予想 0.2% 12 月 0.3%)、前年比 -2.4% (予想 -2.2% 12 月 -2.3%)

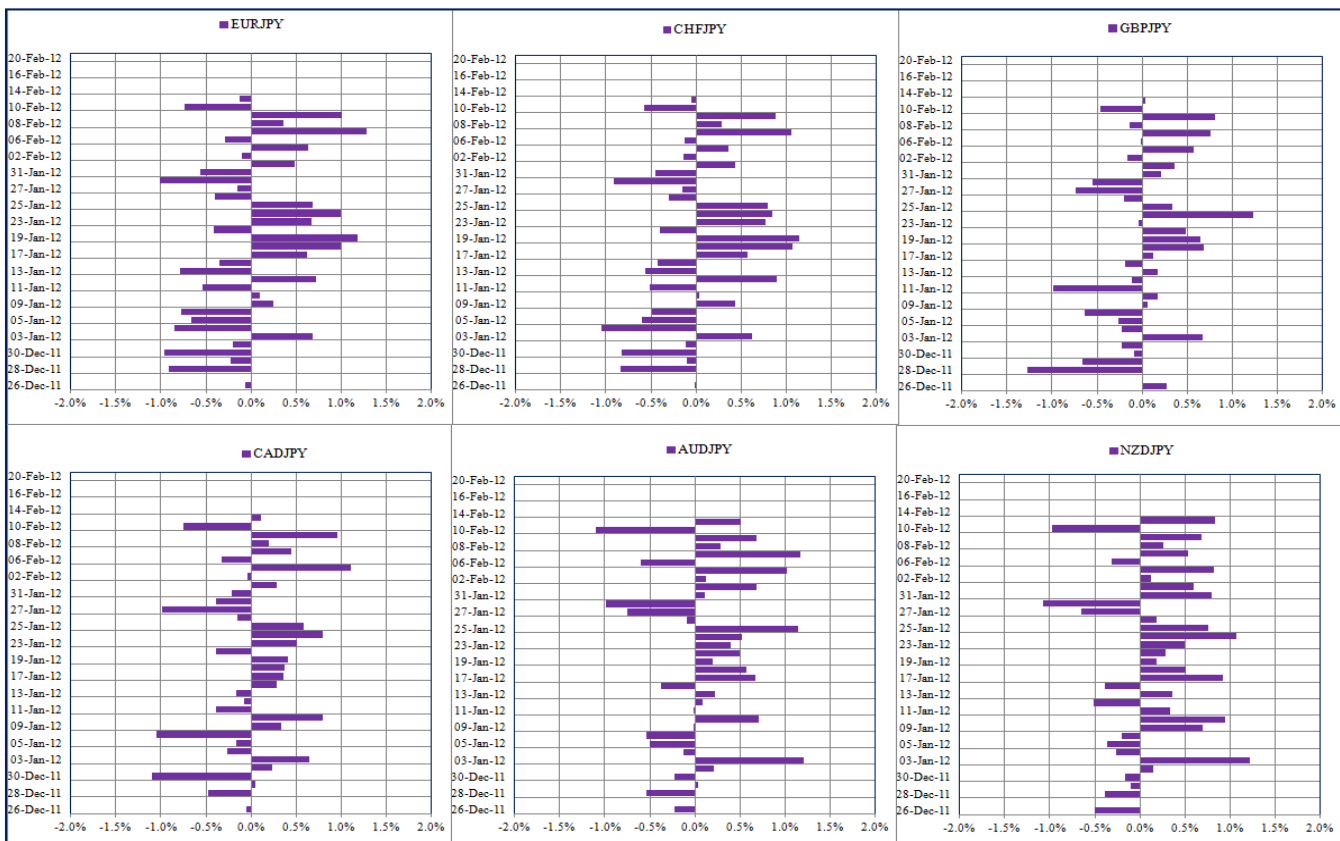
日経平均株価・NYダウ平均株価・SpotGold・SpotWTI・\$Index の(Daily 変動率)、10年債利回りのDaily 推移と比較



主要通貨の Daily 変動率 (%)



円クロスの Daily 変動率(変動率)



USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス

本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com,ロイター社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com ロイター社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたらしますが、損失ももたらします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011